

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



招待を受け、空港を訪問しました!(ザンビア)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

5月の下旬に私共孤児院の第21回目となります総会が行われました。

今回もコロナ渦ということで、オンラインにての総会となりましたが、皆様のおかげをもちまして、全ての議題が承認され、無事に総会を終えることができました。御協力いただきました皆様には、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

これからさらに本格的に本年度の計画を執り行っていくこととなりますが、既に学校関係からの講演会の依頼など、いろいろな広報活動がおこなわれ、多くの方々、特に若い方々に、日本では中々知ることの難しい世界の、特に孤児達をとりまく状況を知って頂けるは大変意味のあることと思ひ、また大変嬉しく思っております。

なぜなら、ロシアとウクライナの戦闘等、まだ先の見えない大きな問題を抱える世界情勢のなか、さらに多くの孤児達が生まれることは明白と言え、そして世界の子供達を取り巻く環境はさらに厳しくなっていくと思われるからです。

さらに1人でも多くの子供達を助けるために、また、既存の私共孤児院の働きが強まるためにも、何より皆様の御支援、御協力が必要となります。

どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。カンボジアではコロナ感染者が激減して来ている状況から、学校でもほぼ対面授業になりました。職業訓練校のほうも再開し、男子2人が学び始めましたところ。これから自転車通学となりますので、自転車購入の為の支援金よりこの度、一台ずつ購入する事が出来ました。大渋滞する大通りを自転車で移動しなければならず、当初はかなり心配でしたが最近では往復とも守られて継続して学ぶに参加することが出来ています。皆様からの壁の修理の為のご支援をありがとうございました。雨水が染みたり流れたりしていた壁の修理が5日間で無事に終わりました。今年は、政府への国際NGO団体としての活動許可更新の為、政府機関からの視察があり数ヶ所指摘箇所があった中で、台所ともう1部屋に換気扇を取り付けることになりました。この作業も丁度同じ頃となり、一緒に業者の方をお願いすることが出来ました。政府機関からの孤児院視察は、もう1回行われる予定になっています。皆様からのカンボジア孤児院の為のご支援とご協力を心から感謝致します。



自転車で職業訓練に通い始めた2人

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様のご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアは今が冬で、毎日凍えるくらい寒い。以前、制服がなかった頃は、学校で寒そうにしている子ども達に心を痛めたものですが、現在は全員が制服のセーター着用しているので、それだけでホッとしています。製粉場の改築が終わり、2クラス増築となりました。来年1月には、新たに30人程の孤児たちを受け入れる事ができるのではと、期待しています。孤児1人につき、1ヶ月7千円(文房具等込み授業料・朝昼給食費)必要になります。どうぞ継続したご支援を心よりお願い致します。現在は円安で非常に厳しい状況が続いていますが、その中でも、中等学校建設プロジェクトは進んでいます。全て建設を完成するためには、あと2千万円必要です。建設が完成した後は、コンピューターや実験室、図書室、キッチン等の設備を整えるために400万円程必要になります。世界的に経済状況が悪化している中で、スラムの孤児たちの状況はますます厳しくなっています。どうか皆様のご支援を心よりよろしくお願い致します。



(上)学校(製粉所)の改築前
(下)学校(製粉所)の改築後

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

2021年から2022年の学年は正式には7月8日までとなっています。進級式は最終的に6月17日と6月24日に行われることになりました。また卒業式は6月27日に行われる予定です。修学支援生たちは、引き続きインターネットとモジュールで授業を受け、宿題や課題に取り組んでいます。保護者が許可した子どもたちは学校での対面授業を受けていますが、その他のほとんどの子どもたちはインターネットで参加しています。子どもたちは良い成績で進級するために、とても一生懸命勉強しました。彼らの努力を嬉しく思っています。これも皆様のフィリピンの子どもたちに対する暖かいご支援のお陰です。心から感謝致します。来期2022年から2023年の学年においても、皆様のご支援、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。



フィリピン現地責任者のエレノア
今年度も皆様のご支援により学用品を購入することが出来ました

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。ブラジルでは冬至を6月20日に控えて、今朝は9度まで下がり、かなり冷え込みました。カレンダー上では新学期が7月25日から始まりますが、学校によってはもう授業を早々と終えて冬休みのバケーションを取る人々も出ています。さて、個人的に支援している児童支援施設の責任者Tさんがいつも活動報告の写真を送ってくださっていて、今回もご紹介したいと思います。Tさんの施設では45家族の66人の子供たちを支援していて、市役所をはじめ、スーパーや地域の様々な企業が寄付をくださっています。寄せられる食材を支援している各家庭に直接配布したり、野菜スープを作ったり、通りに出て出し物をして寄付を募っています。施設のアクティビティでは柔道が人気で、なんと地域の選手権で、支援している子供たちがそれぞれ1位を獲得したのだそうです!素晴らしい!さらに学校の授業についていけるように補習を助けたり、演劇の練習、パソコン教室などが行われています。さらに皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



左上から通りに出てイベント、野菜スープ作り、企業からの食材の寄付、柔道選手権、6月の祭りジュニーニャの飾り付けをする子供たち